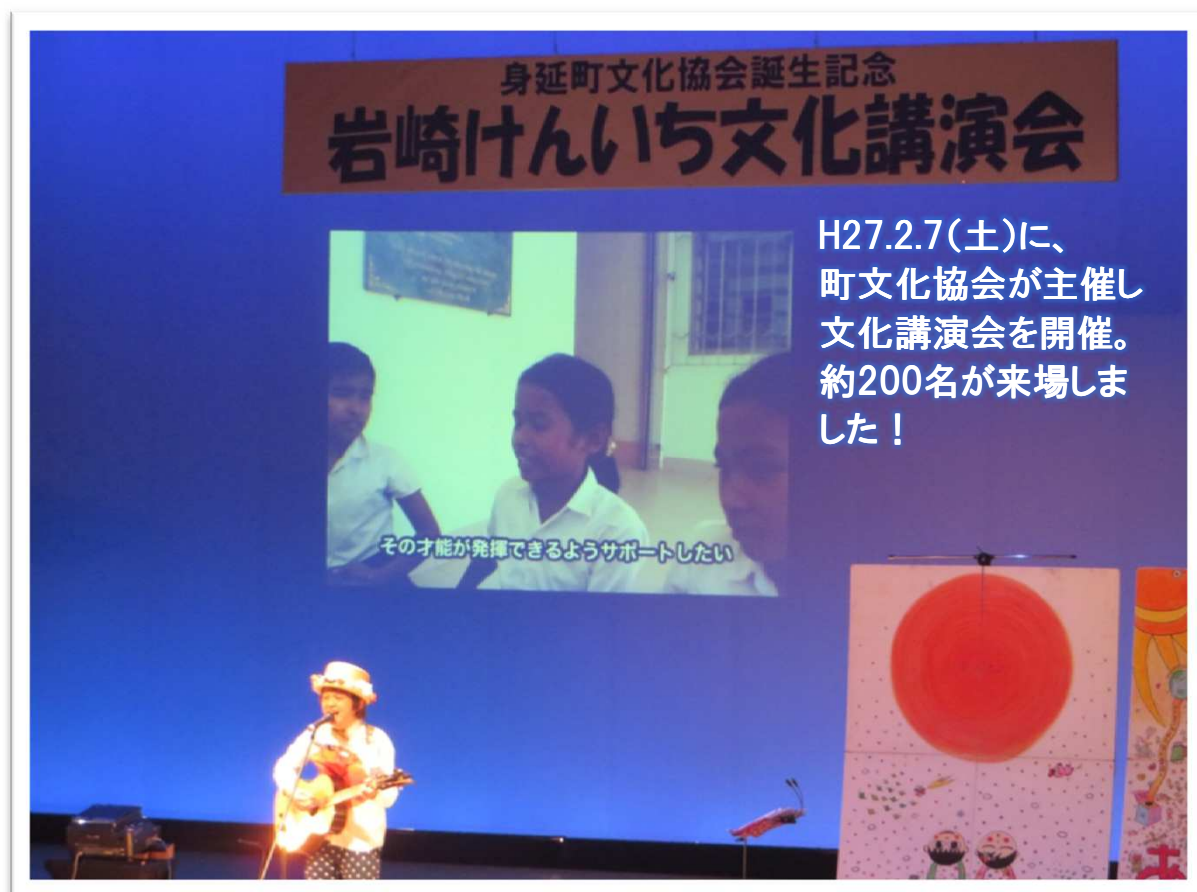


文協だより

第7号



身延町文化協会

Contents

目次

003	… …	ごあいさつ（文化協会長）	
004	… …	平成26年度 身延町文化協会役員 ・専門部長（理事）・サークル代表者名簿	
007	… …	サークル紹介	※ [] は専門部名
		（聖心流吟詠会）	[詩吟部]
		藤千会	[舞踊部]
		身延地区舞踊部 （さくら会） （静川舞踊部）	
008	… …	琴友会4部	[大正琴部]
		ふじの実会	
009	… …	西嶋琴友会	
		琴和会 （琴友会3部） （大正琴コスモスの会）	
010	… …	下部コーラスやまゆり	[合唱部]
		中富女声コーラス	
011	… …	にじの会	
012	… …	下部社交ダンス部	[社交ダンス部]
		さつきダンスサークル みのぶダンスサークル	
013	… …	古閑観音太鼓同好会	[和太鼓部]
		和太鼓“孝”	
014	… …	下部フォークダンスやまゆり常葉教室	[フォークダンス部]
		下部フォークダンスやまゆり働く婦人の家教室 フラダンス部下部	[フラダンス部]
015	… …	みのぶフラサークル	
		身延箏曲橋会	[箏曲部]
016	… …	バンド部	[バンド部]
		カラオケ部	[カラオケ部]
017	… …	身龍会ウエーブ	[民謡部]
		やさしい健康気功	[気功部]
018	… …	中富あすなろ朗読の会	[朗読部]
		下部囲碁部	[囲碁部]
019	… …	身延囲碁部 （中富囲碁クラブ）	
		身延町茶道部	[茶道部]
020	… …	オカリナクラブ	[オカリナ部]
		（西嶋神楽団）	[神楽部]
021	… …	小倉百人一首・身延かるた会	[競技かるた部]
023	… …	川柳山鳩吟社	[川柳部]
		川柳なかとみ 下部地区短歌部	[短歌部]
024	… …	中富いもじや短歌会 中富短歌会	
025	… …	身延短歌部	
		山女俳句会	[俳句部]
026	… …	下部俳句会「松籟」 久那土俳句会	
027	… …	身延俳句協会	

028	ちぎり絵下部教室 あすなろちぎり絵	...	[和紙ちぎり絵部]	...
029	和紙ちぎり絵 (みのぶ)			
030	押し花倶楽部 日向押し花教室	...	[押し花絵部]	...
031	身延水墨画部 (峡南詩壇・松風会)	...	[水墨画部] [漢詩部]	...
032	下部地区公民館下部書道教室 墨の会	...	[書道部]	...
033	華道部 編物教室	...	[華道部] [編物部]	...
034	初心者向着物教室 下部絵画部	...	[着付部] [絵画部]	...
035	中富絵の会 自然愛好部	...	[自然観察部]	...
036	イトの会 絹布細工教室	...	[手芸部]	...
037	身延町文化協会会則			

身延町文化協会からのお知らせ

文化協会のホームページが、平成26年4月から運用を開始しています。
サークルの活動状況、各種お知らせなど、ホットな情報を随時更新しています。
ホームページでは、文協だより第7号に掲載されている作品もカラーでご覧いただく
ことができます。是非、閲覧してみてください。

身延町文化協会ホームページアドレス → <http://minobu-bunkyo.com/>
(身延町のホームページの右下側に「身延町文化協会のバナー」があります。)

■ 身延町ホームページのバナー



■ 携帯電話用QRコード



注) 携帯電話からホームページをご覧
いただく場合は、通信料が高額に
なる可能性がありますので、ご注
意ください。

■ 身延町文化協会のトップページ



■ 身延町文化協会事務局(役場生涯学習課内)
〒409-2936 身延町常葉1025
電話:0556-20-3017・FAX:0556-36-0088



身延町文化協会長
笠井 義仁

町民の心をつにした文化活動

平成25、26年度は、身延町文化協会の歴史に大きな足跡と、さらなる発展に飛躍の一步を踏み出した年でありました。

その一つが、国民文化祭への町民の取り組みであります。国民文化祭の長い歴史の中で、各市町村が分担し1月から11月までの通年開催という大会史上初めての試みを本県が担ったわけですが、本町でも、“美術展「工芸」”、“国際切り絵コンクール・イン・身延 ジャパン”、それに“小倉百人一首かるた競技全国大会・イン・みのぶ”と重要な部門を分担することになりました。そして町民が一つになってバックアップをしてまいりました。

結果はどの部門も大成功に終わり、町民の文化活動への意欲と自信はもとより、活動を通してすべての町民が心をつにして取り組んできたという絆が、これからの文化活動を推進する大きな力となりました。また「おもてなし」の心を合言葉に来場者を温かく歓迎しようという試みが、町外から来られた人たちに高い評価をいただきました。特に中学生の積極的な活動や、お茶の接待をされた茶道部の方々には、感謝の言葉が多く寄せられました。

次に、町の文化協会が、平成25年度末をもって旧町ごとの3支部の活動を発展的に解散し、町民が文化活動を通して一つになったことです。

3町合併後、これまで各支部の長い歴史の中で育まれてきたそれぞれの活動を大事にしようということから、10年もの間、支部活動を基盤に置きながら、文協の活動が展開されてきました。

私自身、これまで中富支部として活動してきましたが、他支部の活動を目の当たりにし、これまでの活動が「井の中の蛙」であったことを知り、自分自身他支部の活動に学ぶことが多々ありました。旧3支部の人々が、互いに吸収し合い、そして一つになろうという空気が湧き上がり、旧3支部の活動をこれまでのように継続しつつも、組織を発展的に解消し、組織を一本化するべく、平成26年度から新しい身延町文化協会が誕生しました。このことは、文化活動を通して町民の心が一つになったといっても過言ではありません。

国民文化祭に町民が全力で取り組むために、昨年度休んだ町総合文化祭の芸能発表会に久しぶりに参加させていただきましたが、出演される人々の喜びと自信に溢れた姿に、身延町の文化活動の明るい未来と、町民の文化活動を通しての生き生きとした日々の生活を垣間見ることができました。

文協各専門部の活動の様子は、この文協だよりに紹介されておりますが、まさに“文化の町みのぶ”にふさわしく熱いものがムンムンと伝わってきます。

文協だよりの発行は、今回が最終号となる見込みですが、これからは町文化協会のホームページで、各サークルのフレッシュな活動をいつでも見ることができます。投稿するのにパソコンはどうもという方はお気軽に生涯学習課文協担当へ相談してください。サークルの皆さんも積極的に活動の様子を投稿し、自分たちのサークル活動を、またひいては身延町文化協会を、今後も大いに盛り立てていただけることをお願い申し上げあいさつとさせていただきます。

平成26年度 身延町文化協会役員・専門部長(理事)・サークル代表者名簿

平成27年 3月 2日現在 (敬称略)

区分	部名	役職	氏名	サークル名	サークル 代表者名	地区 名	会員 数	
役員		会長	笠井 義仁	(絵画)				
		副会長	馬場 一治	(囲碁)				
			山田 勇	(バンド)				
		監事	赤池 千恵子	(俳句)				
			佐藤 義恵	(社交ダンス)				
芸能発表部門	1	詩吟	専門部長(理事)	佐野 妙子	聖心流吟詠会	佐野 妙子	身延	7
	2	舞踊	専門部長(理事)	藤田 羊子	さくら会	土橋 上子	下部	4
					藤千会	佐野 昌子	中富	4
					静川舞踊部	伊藤 いま子	中富	5
					身延地区舞踊部	藤田 羊子	身延	23
	3	大正琴	専門部長(理事)	赤池 あずま	琴友会3部	磯野 和子	下部	3
					琴友会4部	小林 すずむ	下部	8
					琴和会	赤池 あずま	下部	19
					ふじの実会	桜田 晴子	下部	25
					大正琴コスモスの会	望月 廣子	中富	4
					西嶋琴友会	長田 秋子	中富	12
	4	合唱	専門部長(理事)	河西 滋子	下部コーラスやまゆり	磯野 稚子	下部	14
					中富女声コーラス部	河西 滋子	中富	27
					にじの会	石川 多津子	身延	29
	5	社交ダンス	専門部長(理事)	大滝 博	下部社交ダンス部	大滝 博	下部	17
					さつきダンスサークル	高野 博光	中富	5
					みのぶダンスサークル	佐藤 義恵	身延	2
	6	和太鼓	専門部長(理事)	松浦 隆	古関観音太鼓同好会	松浦 隆	下部	12
					和太鼓“孝”	埜村 孝人	中富	8
	7	フォークダンス	専門部長(理事)	渡辺 正美	下部フォークダンスやまゆり 常葉教室	渡辺 正美	下部	13
					下部フォークダンスやまゆり 働く婦人の家教室	阿部 恵子	下部	9
	8	フラダンス	専門部長(理事)	平田 ふく子	フラダンス部下部	佐野 みず江	下部	10
					みのぶフラサークル	平田 ふく子	身延	20
	9	箏曲	専門部長(理事)	小野 碩子	身延箏曲橋会	小野 碩子	身延	9
	10	バンド	専門部長(理事)	山田 勇	バンド部	山田 勇	身延	22
	11	カラオケ	専門部長(理事)	近藤 康次	カラオケ部	近藤 康次	身延	61
	12	民謡	専門部長(理事)	小高 香代子	身龍会ウエーブ	小高 香代子	身延	10
	13	神楽	専門部長(理事)	長田 東	西嶋神楽団	長田 東	中富	18
	14	気功	専門部長(理事)	長田 ゆき枝	やさしい健康気功	長田 ゆき枝	中富	22

平成26年度 身延町文化協会役員・専門部長(理事)・サークル代表者名簿

平成27年 3月 2日現在 (敬称略)

区分	部名	役職	氏名	サークル名	サークル代表者名	地区名	会員数
芸能発表部門	15 朗読	専門部長(理事)	伊藤 直樹	中富あすなろ朗読の会	伊藤 直樹	中富	6
	16 囲碁	専門部長(理事)	土橋 重夫	下部囲碁部	土橋 重夫	下部	17
				中富囲碁クラブ	佐野 郁也	中富	13
				身延囲碁部	片田 直康	身延	8
	17 茶道	専門部長(理事)	望月 宗富	身延町茶道部	望月 宗富	全町	30
	18 オカリナ	専門部長(理事)	山口 益美	オカリナクラブ	山口 益美	全町	14
	19 競技かるた	専門部長(理事)	加藤 基道	小倉百人一首・身延かるた会	羽賀 茂次	全町	6
文化文芸作品展示部門	20 川柳	専門部長(理事)	笠井 哲夫	川柳山鳩吟社	笠井 哲夫	下部	4
				川柳なかとみ	深沢 京子	中富	6
	21 短歌	専門部長(理事)	小林 妙子	下部地区短歌部	小林 妙子	下部	15
				中富いもじや短歌会	深沢 千春	中富	7
				中富短歌会	望月 八重子	中富	6
				身延短歌部	望月 さと子	身延	11
	22 俳句	専門部長(理事)	小林 利典	山女俳句会	磯野 静子	下部	9
				下部俳句会「松籟」	今村 恵一	下部	7
				久那土俳句会	小林 利典	下部	11
				身延俳句協会	依田 智文	身延	35
	23 和紙ちぎり絵	専門部長(理事)	乗松 登美子	ちぎり絵下部教室	遠藤 三六	下部	6
				あすなろちぎり絵	長田 秋子	中富	11
				和紙ちぎり絵(みのぶ)	乗松 登美子	身延	10
	24 押し花絵	専門部長(理事)	岩松 一恵	日向押し花教室	岩松 一恵	下部	6
				押し花倶楽部	伊藤 久美子	中富	5
	25 水墨画	専門部長(理事)	山本 慶子	身延水墨画部	山本 慶子	身延	8
	26 書道	専門部長(理事)	馬場 弘江	下部地区公民館下部書道教室	馬場 弘江	下部	6
				墨の会	笠井 和子	中富	7
	27 華道	専門部長(理事)	池上 良子	華道部	池上 良子	身延	8
	28 漢詩	専門部長(理事)	高橋 永太郎	峽南詩壇・松風会	高橋 永太郎	身延	3
	29 編物	専門部長(理事)	青沼 ふじ代	編物教室	青沼 ふじ代	身延	8
	30 着付	専門部長(理事)	高野 淳子	初心者向着物教室	高野 淳子	中富	3
	31 絵画	専門部長(理事)	岩松 順子	下部絵画部	岩松 順子	下部	13
				中富絵の会	笠井 義仁	中富	5
	32 自然観察	専門部長(理事)	赤池 一博	自然愛好部	赤池 一博	下部	63
	33 手芸	専門部長(理事)	平田 ふく子	イトの会	平田 ふく子	身延	8
				絹布細工教室	望月 誠美	身延	8
	33 部		33 名	63 サークル	63 名		805 人

芸能発表部門

専門部 詩吟部

サークル名 聖心流吟詠会

専門部 舞踊部

サークル名 藤千会

私達藤千会舞踊部は、月4回、西嶋分館で活動しており、習いはじめて約30年が経ちました。毎年、町の総合文化祭に参加し、活動の成果を発表しています。今年度は「望郷追分」を披露しました。

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」
(H26.10.26開催)



サークル名 身延地区舞踊部

身延地区舞踊部には、「実の会」「藤南美会」「若松の会」「藤身会」「西華流」の5団体が所属しています。年4回老人ホームの慰問、盆踊り大会への参加、地元の公民館祭や秋まつり、その他イベントに多数参加しています。

第2回カラオケ部・舞踊部
「合同発表会」
(H24.11.25開催)



サークル名 さくら会

静川舞踊部

専門部 大正琴部

サークル名 琴友会4部

私達のサークルは琴友会といいます。

月2回の練習を下部地区公民館で、午前中に行っています。

懐かしい昔の曲や歌謡曲、演歌とさまざまな曲に挑戦しています。

活動としては、主にデイサービスに行って演奏をしています。

懐かしい曲を弾くと、一緒に歌ったり、体を動かしたりと、会場がとても盛り上がり、みんなが楽しそうで、笑顔が特に良く印象に残り、習っていてよかったと感じる瞬間です。

今年は町の総合文化祭に参加しましたが、特に昨年度は国民文化祭・大正琴の祭典にも参加することができました。

また、年1回開催の交流会にも参加し、大勢の人達と会って親睦を深めるのも一つの楽しみです。

興味のある方はぜひ一度見学に来てください。私達と一緒に大正琴をはじめてみませんか。お待ちしております。



サークル名 ふじの実会

私達「ふじの実会」は、平成25年9月、山梨県で開催されました「国民文化祭・大正琴の祭典」に出場したメンバーで結成された会員20名程の会です。

毎月第1・第3月曜日の午後、西嶋分館をお借りし「河西弘志先生」の指導のもと、テンポの速い曲や長い曲にも挑戦し、上手に弾けるよう日々勉強しています。

26年度文化祭終了後は、会員全員で公民館の掃除と反省会を行い、会員同士の親睦にも心がけています。会員のほとんどが高齢者ですが、平成27年3月には、お寺の春の祭典での演奏会に出演することになり、それに向けての練習や来年度の文化祭に向けてなど、大正琴を弾ける事を楽しみに頑張っています。

大正琴を弾くには、手、頭、目、耳を使いますので、認知症の予防にもなり生涯学習にもつながります。大正琴をはじめてみたい人、是非声をかけてください。



第28回国民文化祭やまなし2013「大正琴の祭典」
(H25.9.28開催)

サークル名 西嶋琴友会

昭和の初め、私が学んだ小さな村の小さな小学校には、根津嘉一郎氏寄贈のピアノ1台と、オルガン1台がありました。

子ども達は、触れることも、周りで遊ぶことも許されませんでした。当時は、学校においても、家庭においても、社会においても全く音楽環境は整っていませんでした。

そんな時代を生きて来た私達は、一様に楽器に対する憧れを抱いておりました。

そして出会ったのが大正琴です。

優しく澄んだ音色は、残り少ない人生を共に歩んでくれるよき伴侶のような気がしております。

活動の中で、平成25年度「国民文化祭」秋のステージでの演奏は銘記すべきことでした。

場所もとらず、持ち運びも便利で、取り付きやすい大正琴と遊んでみませんか。

■日 時 毎月第2・第4水曜日
午後1時30分から

■会 場 西嶋分館

■講 師 河西弘志先生

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」
(H26.10.26開催)



サークル名 琴和会

私達身延琴和会は、働く婦人の家（久那土出張所）を拠点に、平成14年1月より渡辺秀実先生のご指導をいただき、月3回の練習をしています。懐メロ、童謡、演歌、ポピュラーソングなど色々なジャンルに挑戦して、琴の音色に癒され、また仲間と会うことも楽しみの一つです。日頃の活動は、施設訪問や学校訪問、文化祭などに積極的に参加し、地域の人との交流に努めています。なお、一昨年山梨県で行われた第28回国民文化祭「大正琴の祭典」に出場の機会をいただき、大変光栄なことで感謝しています。日頃の練習の成果を発表できたことをうれしく思っています。また、会では大勢の皆様のご入会をお待ちいたしております。いつでも見学にいらしてください。

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」
(H26.10.26開催)



サークル名 琴友会3部

大正琴コスモスの会

サークル名 下部コーラスやまゆり

下部コーラスやまゆりは、現在部員14名です。

指揮者に富田先生、ピアノ渡辺枝折先生のご指導のもと、毎月第2・第4の火曜夜8時から10時まで、下部地区公民館において楽しく和気あいあいと活動を行っています。

年間恒例行事として、山梨県ママさんコーラス大会への参加をはじめ、身延町総合文化祭、南部合唱のつどい、市川三郷町民合唱祭に出場しております。

今年、結成35年目になりました。PTAコーラスから始まり、徐々に会員も少なくなっており、高齢化も進んで来ましたが、若返りの一環として、歌遊びをしては思いっきり声を出して笑い、リズムと音感も同時に養っています。

年を重ねるごとに声も出にくくなり、変速なリズムに四苦八苦する日々ですが、『身体の動く限り歌おう！』と励まし合いながら、素晴らしい指導者のもと、声を合わせる楽しさを実感しています。

歌の好きな方、是非一緒に歌ってみませんか？ いつでも入部をお待ちしております。



サークル名 中富女声コーラス

中富女性コーラス部は、昭和50年代に発足して以来、現在に至っています。

今年度は27名の部員で、今までと同じく毎月2回の練習を楽しみに集まっています。

中なほみ先生のすばらしいピアノの音色と、岩里恵子先生の細やかで力強い指揮、お二人の先生方のご指導により歌うことのよろこびを感じつつ熱心に練習をしています。

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」では、「花の季節」「明日という大空」「若者たち」の3曲を、心を込めて精いっぱい歌いました。歌い終えたときは、とてもさわやかな気分になりました。

これからも部員みんなが心を一つにして、楽しく練習を重ねていきたいと思っています。

練習以外の活動としては、敬老の日に「中富すこやかセンター」を訪問して、みんなに親しまれている歌を5曲、デイサービスにいられている方たちと一緒に歌い、楽しいひとときを過ごしました。



サークル名 にじの会

『昔から今に歌い継がれている懐かしい童謡や唱歌などをみんなで楽しく歌い、次の世代に伝え継ぎたい。』こんな願いを持つ仲間が11年前の平成15年7月に本会を結成しました。会長は石川多津子、指導者に山田勇先生、ピアノ伴奏を石川清美先生にお願いし、当初は会員38名、練習会場は下山中学校音楽室をお借りし、しばらく練習して来ました。下山中学校が閉校となり、平成23年4月からは、身延地区公民館下山分館2階ホールで練習を続けて来ました。今年（平成26年）3月からピアノ伴奏者を石川由里子さんにお願いし、4月から新装なった下山分館で練習を続けております。現在は、男性会員6名、女性会員23名、計29名の混声合唱団です。月2回の練習では、体のストレッチ運動から始まり発声練習ととても楽しく、いつも笑い声が絶えません。

これまでの主な活動は、下山中学校合唱発表会、身延町総合文化祭芸能発表会、南部合唱発表の集いなどへの参加発表、養護老人ホームなどの施設訪問です。

平成26年4月20日（日）、新装なった下山分館の竣工をお祝いし、衣装も新調して発表しました。6月に身延町文化協会に入会しました。

10月26日（日）、第5回身延町総合文化祭芸能発表会に出演し、混声合唱のための童謡メドレー『いつの日か』、『故郷』を発表しました。南部合唱発表の集いへの出演は身延町の芸能発表会と開催日が重なったため本年は欠場しました。

（下山コーラスにじの会事務局 松木 勝仁）



身延地区公民館
下山分館竣工式
（H26.4.20開催）

専門部 社交ダンス部

サークル名 下部社交ダンス部

部員は17名です。練習日は、毎週金曜日、午後1時から午後3時まで、下部地区公民館多目的ホールで行っています。

会費は月1,000円です。ただし、月の最終金曜日は「お楽しみ会」と題して、500円会費で下部温泉会館において、午前10時から午前中はダンスの練習、11時30分頃から食事とカラオケで3時頃まで楽しんで解散しています。

ダンスに興味のある方、又は練習をしたい方は連絡をお待ちしています。

◆連絡先 TEL：0556-42-3324
大滝までお願いします。

下部社交ダンス部 大滝 博



サークル名 さつきダンスサークル

下部社交ダンス部の仲間の内、練習を補足しようと発足したサークルです。

指導は三沢の高野久喜様にお願いして月2回、少人数ですが楽しく練習を続けています。



サークル名 みのぶダンスサークル

こんにちは、みのぶダンスサークルの佐藤です。
毎週火曜日に身延公民館で練習していましたが、部員減少により活動が出来なくなりましたので、現在、私は先生の教室に通って練習に励んでいます。



専門部 和太鼓部

サークル名 古関観音太鼓同好会

設立 平成2年4月1日
会員数 大人5名 子供5名 指導・協力会員6名
定例練習日 毎週土曜日 午後7時半から 下部町民体育館で行っています。

和太鼓は、古くより伝統芸能として愛され、近年では新しい音楽として親しまれています。そんな太鼓の響きを体で感じながら、大人も子供も楽しく活動しています。

初心に戻り一曲一曲を大切に、教え合い励まし合いながら、太鼓の響きの楽しさと成長していく自分達の喜びを味わっています。

今は、子供たちが中心となって地域のイベントや、山梨県太鼓祭りなどに参加しています。

昨年は、ジュニアコンクール山梨県予選に出場し、優勝は出来ませんでしたが、優秀賞として富士川町長賞をいただきました。

時には新年会やバーベキューなどで親睦を深めながら、和気あいあいに活動しています。

ただ今、会員を募集しています。

腹に響く太鼓の音、軽快なリズムを一緒に楽しみませんか？ 見学・体験も出来ますので、お気軽にご連絡ください。

◆連絡先 会長（松浦隆）0556-38-0108



サークル名 和太鼓 “孝”

2001年5月（平成13年）に結成して今年で14年目になります。

メンバーは、身延町・市川三郷町・富士川町・甲斐市出身です。

創作太鼓を主に演奏しますが、他に伝統的な三宅太鼓・八丈太鼓を打ちます。

今年の活動は、アピタ元旦初売りイベント、企業新年会、結婚式、各地域文化祭、太鼓連盟太鼓祭り、石和蓮朝寺継承式、三宅太鼓発表会等でした。



H26.9.28 三宅太鼓学宿
於：中富青少年自然の里
（講師：津村秀快・春快）

専門部 フォークダンス部

サークル名 下部フォークダンスやまゆり常葉教室

下部フォークダンスやまゆり働く婦人の家教室

下部フォークダンスやまゆりは、常葉教室と働く婦人の家教室の2つのサークルがあります。両方の教室に参加している人もいます。

現在の会員は、60代、70代、80代です。若い人を募集しています。もちろん年配の方もOKです。学生・学童もOKですよ～～。

頭を使って、体も動かして、とても楽しいですよ。

皆、やさしいおばちゃん達ですから、ぜひ一度見学に来てください。

指導者 阿部 恵子

■常葉教室

開催日 毎週金曜日 午後7時30分
～9時30分

会場 下部地区公民館多目的ホール

会員 13名

代表 渡辺 正美 (0556-36-1313)

■働く婦人の家教室（久那土教室）

開催日 毎週水曜日 午後7時30分
～9時30分

会場 働く婦人の家2階ホール

会員 9名 ※六郷の人も来ています。

代表 阿部 恵子 (0556-36-1697)

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」
(H26.10.26開催)



専門部 フラダンス部

サークル名 フラダンス部下部

【サークルの紹介】※通称：ハイビスカスの会

足腰でリズムをとり、表情を表現する美容体操のつもりで始めて7年が経ちました。
月2回のレッスンですが、みんなで楽しく活動しています。

・練習 毎月第2・第4月曜日（月2回）
午後7時30分～9時00分

・会場 身延町働く婦人の家

・メンバー 10名

【活動事例の紹介】

・身延町総合文化祭 ・敬老会 ・しもべ荘
・各種発表会 等

【指導者】 ベッスィー洋子 杉山 先生（ハワイ島ヒロ出身の日系4世）10歳からフラダンスを始め、富士川町鰯沢にフラスタジオを開き10年目を迎えました。



サークル名 みのぶフラサークル

平成18年、町の生涯学習課でフラ教室が開かれました。

教室の期間が終わっても継続してやりたいという希望があり、現在に至って、今年で9年目を迎えました。

会員は20名で、年齢差はありますが、月2回の練習に楽しく汗を流しています。

町の文化協会に所属し、ハワイ出身のベッスイ杉山先生指導の下、「親切」「優しさ」「思いやり」の心を持って取り組んでいます。

■練習日 毎月第1・第3金曜日 午後7時～午後9時

■練習会場 身延町総合文化会館

◎今までの主な活動状況

○身延町総合文化祭

（芸能発表会）

○身延商工まつり

○みのぶまつり

○峡南夏祭り

○和紙の里まつり

○豊岡まつり

○みのぶ荘慰問

○千葉県鴨川市・身延町姉妹都市
交流会参加（平成26年度）



専門部 箏曲部

サークル名 身延箏曲橘会

身延箏曲橘会を紹介させていただきます。

今は亡き大沢園絹先生が昭和35年に、身延町で開催された音楽祭に参加、会の名前を橘会と命名したと聞いております。

現在会員は9名程で、大河内分館をお借りして月2回の練習に励んでおります。

活動は身延山の御年頭会に始まり、老人ホームの桜まつり、町の秋の文化祭等に参加させていただいております。

年に2、3曲を選び、最近は童謡メドレーに挑戦しております。

皆で集まり、曲を選ぶ時、また食事会や小旅行等、会員一同和気あいあいと楽しんでいます。

こんな小さな会ですが、皆でがんばっています。

第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」
（H26.10.26開催）



専門部 バンド部

サークル名 バンド部

本町を中心に活動している結成20年のラテン・ビックバンドです。今年2月14日には、身延町総合文化会館において、「結成20周年記念コンサート」を開催し、大盛況でした。サックス・トランペット・トロンボーン・ピアノ・ベースギター・ドラムス・パーカッションにより編成されています。近年は「小中学生に生の音楽を」と、出前演奏会に積極的に取り組んでいます。

詳細は、YAMADA MUSIC LANDのホームページを是非ご覧ください。

<http://www17.plala.or.jp/musicland/>

代表：山田 勇 事務局：加藤一道



専門部 カラオケ部

サークル名 カラオケ部

身延町カラオケ部は、今年で29回目のコンサートを開催、15年もの長い間継続して実施しています。

今年は会員も10数名増え、現在61名の会員数となりました。

練習日も月3回（昼1回、夜2回）ありますが、毎回10～20名位の会員が参加して助け合い熱の入った練習をしています。

そして、練習の成果を年2回のコンサートで披露しています。今年はプロ歌手の特別出演で、春（6月）と秋（11月）の2回が実現しました。会場の空気も一段と盛り上がり、拍手もたくさんいただき感謝！！感謝！！のコンサートでした。

身延町への恩返しの意味も含めて11月に開催した舞踊部とカラオケ部合同でのチャリティーコンサートも今年で5回目を数え、社会福祉協議会への募金活動も続けて実施しております。

これからも明るく楽しく、元気なカラオケ部の継続を推進していく所存ですので、カラオケ部への皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

部長 近藤 康次



専門部 民謡部

サークル名 身龍会ウエーブ

身龍会ウエーブはよさこいソーランのチームです！

＊結成 平成13年 ＊活動日 毎週水曜日 ＊会場 梅平一区公民館

＊人数 10名 ＊一緒に活動してみませんか？

年齢不問・元気な方・踊りが好きな方・反省会が好きな方・お祭りなど様々な祭典への出演、鳴子（なるこ）の音色、衣装、そして和気あいあいとした雰囲気でもとても楽しく活動しています。

身龍会ウエーブは結成してから12年が経ちました。

振り返って見ると、身延山内をはじめ、みのぶまつり、商工まつり、農協まつり、各地区のお祭りや福祉施設、国民文化祭、日本武道館での全国民謡まつりなど、“舞”を通して多くの良き思い出を作らせていただき、心から“感謝の念”でいっぱいです。

最近、若いメンバーが加わってくれて、気持ちを入れかえ、練習にも“力”が入っています。

「よさこい」の曲はいろいろありますが、身延の歴史を盛り込んだ曲「飛龍武田節」「久遠の祈り」、甲斐の名将・武田信玄の想いを歌詞にのせた「武田軍団出陣」という地元のオリジナル曲を中心に、縁起の良い「えびしば」も今年は“ご覧頂けたらいいね”とメンバーが考えています。

これからも尚一層精進していきます。
どうぞよろしくお願いいたします。



専門部 気功部

サークル名 やさしい健康気功

気功教室は、毎週木曜日午後1時半から3時まで中富総合会館にて実施しております。

会費は、月額1,500円です。

また、西嶋分館においても

毎週火曜日午後1時半から3時まで
実施しております。

会費は、1回500円です。

気功に興味のある方は是非一度見学
にお出ください。

連絡先；長田ゆさえ

090-9685-9814



専門部 朗読部

サークル名 中富あすなろ朗読の会

中富あすなろ朗読の会は、毎月1回、中富総合会館の視聴覚室において開催しています。
会員は6名です。
毎年1回、11月に発表会を開催しています。

専門部 囲碁部

サークル名 下部囲碁部

新身延町発足以来、旧3町の囲碁部では、地区の大会を開催するに当たり、お互い連絡を取り合いながら一緒に囲碁を楽しんでいます。

今年は、山日職域対抗囲碁大会に、B2-2組に出場して1位になり、来年の大会ではB1に昇格することになりました。昨年から、西部広域囲碁大会（3市2町）の文化協会対抗戦にも、市川三郷町の西八代文化協会の一員として参加しています。

下部温泉会館に集まって行う囲碁研究会は、定例で毎月1回開催しておりますが、毎回とても盛会です。温泉に入りに来た方がこの研究会に立ち寄り、そのまま会員になった人も何人もいます。

平成27年1月より、下部温泉会館での研究会は毎月第1月曜日に行いますので、関心のある方はぜひ参加してください。連絡・照会等は温泉碁会「五会」の責任者・馬場一治（0556-36-0378）へお願いいたします。

【平成26年活動の経過】

- 1/26 中富地区碁会に参加
- 3/16 下部文化祭囲碁大会開催
- 3/22 第4 1回西八代文化協会囲碁大会に参加
- 4/21 第2回西部広域囲碁大会に参加（市川三郷町囲碁クラブ主催）
- 5/18 山日職域対抗囲碁大会に参加（1位にて予選通過）
- 5/24 山日職域対抗囲碁決勝大会（3位）
- 6/21 下部地区碁会開催
- 7/18 峡南老人クラブ連合会囲碁大会に参加
- 8/24 中富地区碁会に参加
- 10/ 5 第3回西部広域囲碁大会に参加
（南アルプス市囲碁クラブ主催）
- 10/25 第4 2回西八代文化協会囲碁大会
に参加
- 10/26 身延町総合文化祭囲碁大会開催

下部囲碁部 部長 土橋 重夫



サークル名 身延囲碁部

愛好者の高齢化により会員が減り淋しくなりましたが、1年を通し毎週1回の練習会では、お互いの腕を磨きながら至福の時を楽しんでいます。

また、個人及び団体で以下の練習会や大会に参加しています。

- ① 峡南老人クラブ囲碁大会
- ② 西八代郡囲碁大会
- ③ 中富囲碁サークル主催囲碁大会
- ④ 下部囲碁サークル主催囲碁大会
- ⑤ 身延町総合文化祭囲碁大会
- ⑥ 南部町文化祭及び南部商工会囲碁大会

当サークルもかつては、年4回程の大会も主催してきました。現在休止中ですが、いずれは復活すべく検討しています。

代 表 片田 直康
事務局 山岸 正成



第5回身延町総合文化祭「囲碁大会」
(H26.10.26開催)

サークル名 中富囲碁クラブ

専門部 茶道部

サークル名 身延町茶道部

現在の部員数は30名です。茶道部は身延町が発足して間もなく旧3町の部が一つの部になり活動しております。

昨年は国文祭の中で「身延かるたの会」のお呈茶を300名程の方々に心込めた一椀を差し上げる事が出来ました。又、身延山観桜会の折は、2日間で約1,400名のお客様に喜んで頂きました。

一期一会を心より楽しみつつ、これからも部員一同益々町の文化向上に尽くして参りたいと思っております。一人でも多くの方に茶道部に入って頂けたら幸いです。一同心よりお待ちしております。

【主な活動】

- 身延町総合文化祭参加
 - ・ 芸能発表会会場ロビーで御呈茶
 - ・ 文化文芸作品展示会会場で御呈茶
- 身延山観桜会参加
 - ・ 身延観光協会のご依頼を受け
2日間の御呈茶



第5回身延町総合文化祭「展示会お茶の会」
(H26.11.22開催)

専門部 オカリナ部

サークル名 オカリナクラブ

私達オカリナクラブの活動状況をご紹介します。

身延町文化協会オカリナクラブのメンバーは土から作られた楽器、オカリナの音色に魅せられて練習を始め、まだ1年から1年半の初心者の集まりです。

練習はライリッシュオカリナ連盟所属の中嶋門子先生を講師に、市川三郷町のニードスポーツセンターと中富総合会館の2会場でそれぞれ月2回行っております。

このようなメンバーですが、昨年10月26日には第5回身延町総合文化祭「芸能発表会」においてクラブとしての初舞台を経験しました。少々緊張気味ではありましたが、およそ10分間の中で、琵琶湖就航の歌・里の秋・冬の星座・故郷の4曲を無事に演奏をし終えることが出来ました。

会場の皆さんもオカリナの音色に初めて触れた方も多かったようで、お褒めの言葉も方々からいただき、メンバー一同ほっとした初舞台でした。

今後も練習を積んで美しい演奏が出来るようメンバー一同がんばってまいりますので、ご声援の程よろしくお願いいたします。

第5回身延町総合文化祭
「芸能発表会」
(H26.10.26開催)



専門部 神楽部

サークル名 西嶋神楽団

サークル名 小倉百人一首・身延かるた会

この度（平成27年1月）、身延町文化協会に仲間入りさせていただきました。

平成25年11月2日・3日の2日間、山梨県における国民文化祭の一環として、全国各都道府県から代表選手300余名が出場して、身延町民体育館において「小倉百人一首・競技かるた全国大会」が開催されたのは、まだ記憶に新しいところです。

明治の頃から広く親しまれて参りました「小倉百人一首」、中高年の方なら誰もが一度はしたことがあるお正月の定番の「かるた遊び」ですが、この「小倉百人一首」を用いた「競技かるた」がここ数年、高校生、大学生を中心に全国的に大ブームを巻き起こしています。

年間を通して毎週のように、週末には全国の何処かで「競技かるた全国大会」が開催されていますが、一昨年頃より急激に競技人口が増え、どの会場も選手で溢れ、主催者も対応に苦慮しているようです。

「競技かるた」全国大会では「F級」に始まり、3位以内に入賞すると「E級」「D級」と進み、「C級」で初段、「B級」で2段・3段、「A級」が4段以上となっていますが、最近では選手が多すぎ（1,000人以上）、大きな体育館でもA級からF級まで一日、一会場で行うのは不可能な状態のようです。

山梨県では、まだそこまで普及されていませんが、山梨大学や都留文科大学、或いは一部の高校や中学校でも競技者が増えて参りました。

身延町でも各学校で校内ルールによる校内大会等が行われているようですが、「身延かるた会」では文化協会活動として、これから町民の愛好者に「全国ルール」による「競技かるた」を広め、町内大会等を積極的に開催したいと考えています。

競技かるたは、

- 老若男女を問わず、どなたでも楽しく出来る競技です。
- 「ひらがな」を読める子どもさんなら幼稚園児、保育園児にも教えることが出来ます。
- 他県には60歳から習い始めたという人も大勢います。
- 「競技かるた」は「記憶力」「集中力」「俊敏性」の鍛錬になり、学業にも役立ちます。
- ご希望があれば何処にでも出向いてご指導いたします。
- 定期的な練習会を開催したいと思っています。
- 皆さんの希望をお聞きしながら適宜に「かるた会」を開催します。
- 指導は、下記の者が行います。
 - ・加藤 基道 7段（身延町角打）
 - ・松野 重郎 6段（身延町大野）
- 「身延かるた会」には、希望者はどなたでも入会出来ます。
（入会者募集中）
- 会員には、行事の日程等を直接お知らせします。
- 会員入会の申込み先は、加藤基道まで（0556-62-1215）

代表 羽賀 茂次



文化文芸作品 展示部門

専門部 川柳部

サークル名 川柳山鳩吟社

川柳山鳩吟社の紹介をします。川柳山鳩は現在部員4名で活動中です。

部員は少ないですが、少数精鋭でがんばっています。しかし、歴史は古く約40年前から活動しています。最盛期には20名くらいの部員がいました。現在は毎月1回席題3句・自由吟3句を提出していただき、毎月小冊子を発行しています。平成27年2月号で430号になりました。高齢化が進む中、一番若い私（笠井）が66歳です。でも、他の3名の部員もまだまだ頑張ると言っています。興味のある方の参加をお待ちしております。

それでは最近の作品を数点掲載いたします。

【席題「古」】

- | | |
|------------------|-------|
| ・ 古民家の柱が語る過ぎた日々 | 笠井 哲夫 |
| ・ 嫁入りの母の記念の古箏笛 | 上田 尚一 |
| ・ 勤労の汗と油の古い靴 | 岩松 良典 |
| ・ 古い物取って置きたい物ずらり | 深沢 晴雄 |

サークル名 川柳なかとみ

「ちょっと楽しく」

発足以来、18年、よく続いたものです。毎月、2句持ち寄り、皆で検討します。字や言葉の言い回し、助詞、助動詞などについて、ざっくばらんの考え（案）が出されます。一つの句の検討がひとまず落ち着いたところで、次の句に進みます。内容の響きと、それぞれ持ち寄っていただくお茶菓子の味が次の会へつながっていきます。

【川柳作品】

- | | |
|--------------------|-------|
| ・ 一芸会足並み揃えて一、二、三 | 望月 喜彦 |
| ・ オレの年一つさばよみ大笑い | 深沢 久子 |
| ・ 術後の目よく見えすぎるシワとシミ | 深沢 好子 |
| ・ リニアカー時々外気吸いに出る | 深沢 京子 |
| ・ 喜びは「てっ」をつけてオーバーに | 深沢 千春 |
| ・ お年玉右肩上がり細る脛 | 幡野 幸子 |

専門部 短歌部

サークル名 下部地区短歌部

下部地区短歌部は、昭和59年からはじまり定例会を毎月8日と決め、現在15名の部員で正副部長、会計係を中心に学習をしています。

部員も年毎に高齢化しておりますが、長年携わってこられた仲間には93歳という先輩も現在健康澁刺（はつらつ）、作品の添削には切磋琢磨し先輩の助言等をいただき、見違えるほど立派な作品に仕上がります。学習後の作品を山梨日日新聞社へ投稿もしています。

四季の移ろう様子、細かい生物の動き、植物の変化と短歌には限りがなく面白い場面もあり、生活の音さえも感じる心豊かな楽しいひとときを過ごしています。

頭の体操、今は老化防止、仲間との絆の尊さを感じ、毎月1回の出会いを大切にしております。

下部地区短歌部 小林 妙子

【短歌作品】

- | | |
|-----------------------------------|--------|
| ・がま口の鈴はチリリと鳴りそむる吾が起き伏しの施設のベッド | 太田 敦規 |
| ・霜月も半ばを過ぎて冬間近午後の陽射しは翳(かげ)り易(やす)かり | 上田 節子 |
| ・すすき穂の白くなびける下陰に墓石のいくつ低くお座(り)せり | 狩野 花江 |
| ・朝霧の漸く晴れて紅葉なる山の端近く残月白し | 佐野 幸江 |
| ・歓声を上げつつ巡るサファリパーク身を厭ひ合ひ傘寿の友等と | 今村 幸衛 |
| ・笑顔にてリハビリ励む女のあり齢を問へば百二歳とふ | 池川 君子 |
| ・赤が散り白き山茶花かぐわしく香りたたせて心安らふ | 小林 保枝 |
| ・農仕舞労いくる息等と行く信濃路の旅錦秋のなか | 遠藤 良子 |
| ・轟音に「アッ」と言う間に通り過ぐ強き磁力のリニアモーターカー | 小林 秋枝 |
| ・上沢寺の参道ゆけば弾けたる銀杏の実の激しく匂う | 保坂 邦美 |
| ・百寿近き叔母を囲めるいとこ会製糸工場の青春を聞く | 伊藤 千代子 |
| ・庭隅ゆ見下ろす様に櫟(い)の木スックと立ちて威厳たもてり | 渡辺 熙子 |
| ・この秋の紅葉称える歌多し吾は別離の歌またしても | 磯野 茂 |
| ・茶畑も田圃の整理も済みにけり残るはキウイの整枝となりぬ | 佐野 美恵子 |
| ・流れゆく川面に淀む落葉の渦揺らぎつつ只ただあそぶ | 小林 妙子 |

サークル名 中富いもじや短歌会

「いもじや短歌会」の会員は7名です。私達は、日常の生活の中から、自然や生活、社会の出来事などに目を向けて、心に強く感じたことを掬(すく)い取って短歌に表しています。

そして、地区や町の文化祭、高齢者作品展、教職員作品展などにも出品したり、「山日新聞の文芸ひろば」にも投稿、県の文化協会の作品募集にも応募したりして、豊かな老後生活を送っています。

代表 深沢 千春

【短歌作品】

- | | |
|---------------------------------|--------|
| ・返り咲きのカーネーションは母の日に贈られしものまた一つ咲く | 河西 滋子 |
| ・病ゆへに田畑を棄てるといふ夫を心寂しく諾ないにけり | 佐藤 嘉代子 |
| ・カーテンで仕切りし病室(はや)の片すみに夫と吾との憩のひと時 | 深沢 千春 |
| ・弦月を隠して花火開き散る天国の娘に届けと仰ぐ | 川口 まつゑ |
| ・散水のホースの先に七色の虹現われ今日の始まり | 星野 富代 |
| ・水石に繁りて咲ける岩たばこ薄紫の灰かに香る | 深沢 良子 |
| ・只管に身をすりつけて卵うむ揚羽は新芽の燿やふ柚子に | 深沢 明 |

サークル名 中富短歌会

私達の短歌会は、「中富あすなろ短歌会」から「中富短歌会」と改名し、現在6名の会員で毎月第2火曜日の午後1時半より、中富総合会館において開会しています。

一首を無記名で印刷してお互いに鑑賞し、批評し合って楽しく充実した会になっています。また、月1回「山日文芸ひろば」へ投稿し、地区の文化祭や町の文化祭にも参加しています。

中富短歌会 代表 望月 八重子

【短歌作品】

- | | |
|--|--------|
| ・手術(オペ)前と思えぬ程のおだやかさ“頑張って”“あゝ”頷(ウズ)く弟 | 笠井 昭子 |
| ・孫の来て神輿(ミコシ)をかつぐお祭りにたのしい一日の秋はすぎゆく | 土橋 八重子 |
| ・常口に色とりどりの秋桜(アキザクラ)アメリカ帰りの曾孫(ヒコ)“ワンダフル”と | 若林 雪江 |
| ・となり家に赤子誕生知らせありしじまの里に光り射し込む | 佐野 花子 |
| ・此の秋もつぶら実選(ト)りて枝豆を穫り親戚や友に送りぬ | 渡辺 きよ子 |
| ・庭先の南天の根元に咲きさかるうす紫のサフランの花 | 望月 八重子 |

発足当初20数名いた短歌部員も、現在は10名足らずと減ってしまいましたが、結社に所属している方もおり、それぞれの結社、またその人その人の歌風を持った歌を、部員同士でお互いに鑑賞、批判推敲し合っています。

短歌教室は、偶数月の第2木曜日、総合文化会館のメディアルームにおいて、午後1時30分から開催していますが、時に歌を通して広がる話題に、時間の過ぎるのも忘れてしまう程です。

会員の野村浩子さんが、山梨県短歌大会実行委員になっておりますが、町の文化祭の展示のみならず、短歌大会入賞を目標に、部員一同より良い歌を詠む努力をしていきたいと思っています。

部長 望月 さと子

【短歌作品】

- | | |
|---------------------------------|---------|
| ・西に見える遠き山脈もや深し嫁ぎて五十年大雪に見舞ふ | 望月 静保 |
| ・富士川を隔て電車の発ちてゆく旅情かきたつ音を残して | 野村 浩子 |
| ・シクラメン飾りし部屋に華やぎて心明るく日々を過ごしぬ | 望月 篤子 |
| ・三日月と開けの明星仰ぎ見る「早起きは三文の徳」を知る | 穂坂 容子 |
| ・仏壇に飾りし梅の小枝には外より早く白い花咲く | 鈴木 澄子 |
| ・更けてゆく秋の夜に聞く「こころの歌」友を偲びていっしょに歌ふ | 市川 芳子 |
| ・葛の葉にのみ込まれたる廃屋の灯りともし日々遠くなり | 河内 則子 |
| ・畑を打つ手を止め仰ぐ紺青の空に映えたり紅葉の山は | 千頭和 日出子 |
| ・贈られし花に添えらる子等の名に蘇える日々楽しみし日々 | 高山 晶美 |
| ・定年を待たず退きたる未練とも幾たび夢に出づる教室 | 望月 さと子 |

専門部 俳句部

山女俳句会の会員は現在9名、師が他界してより3年、句会の高齢化や車の便も悪いため、思うように出席できない会員もいて、会の存続も一時は危ぶまれましたが、みんなで協力し合い、勉強は続けることになり、下部地区公民館で月1回定例会句会を開いています。

定例会へは7句を持ち寄り、みんなで披露し合い、山日への投稿も行っています。

会の責任者は年齢順に1年間ずつの持ち回りで選んでいます。平成26年度は、会長に磯野静子、会計を磯野幸子、公民館の借用手続きや山日への投稿、文化祭への参加等に当たっています。現在、山女俳句会は波留先生の実弟で青梅にお住いの小林巳之先生にご指導をいただいております。

【俳句作品】

- | | |
|---------------------|--------|
| ・非情にも鈴虫雌に食われたり | 望月 ミチ子 |
| ・鰯雲栴代の川の瀬音澄み | 赤池 千恵子 |
| ・分水嶺三角石の清水鳴る | 渡辺 美雪 |
| ・秋の瀬のきらきら剣ふる如し | 渡辺 ちゑ |
| ・有珠山の霧流れ入る博物館 | 磯野 幸子 |
| ・くこの実のかく真っ赤なり夕日中 | 磯野 志江 |
| ・はぐれたる獵犬（仮）呼ぶ笛や夕暮るる | 門西 愛子 |
| ・散歩道どこかで秋刀魚焼く匂い | 生松 艶子 |
| ・薄紅葉離宮の庭の苔踏まず | 磯野 静子 |

平成7年5月に旧下部町教育委員会の肝いりで「初心者俳句教室」として受講生6名で、有泉橙花先生を講師に発足し、毎月2回の講座で、先生から懇切丁寧にご指導いただき、何とか俳句らしきものが作れるようになりました。それから3年が経過した平成10年5月に、有泉橙花先生を主宰に下部俳句会「松籟」を結社し現在に至っています。

会員もいつときは12名まで増え、毎月2回の例会を開き、春と秋には県内外へ吟行に出かけたりするなど、活気のある充実した状態が続いていましたが、会員の高齢化等もあってやむなく退会する仲間があったりして、現在では7名の仲間で生きがいの一つとして句作に励んでいます。

【活動の状況】

1. 例会（毎月第3火曜日に下部地区公民館を会場に例会を開催）
2. 山日新聞への投句（「文芸ひろば」へ会として、「山日文芸」へ個人として）
3. 町の文化祭「文芸作品の展示」へ作品提出
4. ふるさと文芸愛好会編集の「文芸ひろば」へ作品提出
5. 有泉橙花先生所蔵の雑誌「NHK俳句」を順次まわし読みしての学習 e. t. c.

【11月例会の句から】

- | | |
|------------------|--------|
| ・遠つ嶺の雲輝きて深む秋 | 佐野 利孝 |
| ・秋祭り老いが老いの手引きやりて | 高野 栄仁 |
| ・押し花の変らぬ絵柄秋深む | 佐野 袈裟子 |
| ・畑仕事終へていっばいぬくめ酒 | 今村 恵一 |
| ・一点の雲なき村の秋深む | 佐野 武仁 |
| ・焼き藪や孫はせっせと落ち葉搔く | 高野 あや子 |
| ・重おもと笠雲着たる秋の富士 | 有泉 橙花 |

久那土俳句会は昭和42年8月17日、久那土小学校の教室で発足しました。

当時の句友は36名で、内女性が14名の賑やかな会でした。歴代の指導者・選者は河西木実氏、加藤磯水氏、井上史葉氏、渡辺柳風氏の4氏が務めてきました。

47年の歴史を刻んだこの会は現在、指導者・選者は山田省吾氏に引き継がれていますが、人口減少は句会にも及び、句友は11名と少人数になってしまいました。

山田省吾氏は「裸子」初代主宰俳一佳氏の指針である「客観写生を基本とし、平明の中に余韻余情を採求する」に添って選句し、定例会では講義の時間も設けて指導をされています。

僅か11名ではありますが、地域の先輩が築いてくれた歴史の光を消すことなく、日々精進して吟詠を続けていきたいと思っています。

【俳句作品】

- | | |
|------------------|--------|
| ・樋洗ふ背に立冬の日の温み | 二宮 美仁 |
| ・悠々と鳶輪を描く小六月 | 依田 久子 |
| ・信濃より甲斐へ武州へ冬の雲 | 長瀬 みち子 |
| ・ことも無く厄日の過ぎし鎌を研ぐ | 河西 五十鈴 |
| ・閑かさや富士講の道冬に入る | 赤池 善光 |
| ・富士講の先人偲ぶ冬の雲 | 武田 祖典 |
| ・行く秋や峡の棚田の先づ暮るる | 宮崎 和江 |
| ・小夜しぐれ因幡の神話宿に聞く | 赤池 一博 |
| ・音軽し大きく廻る木の実独楽 | 小林 利典 |
| ・霊山の釣瓶落しや谷の坊 | 山田 省吾 |

この会は、師系や会派の違いを越えて、情報の交換や共同の事業の実施などを通して活動の活性化を図ろうと結成された身延地区の俳句集団です。

現在、「下山俳句会」「糸桜俳句会」「たぶ俳句会」「さくら俳句会」「あすなろ俳句会」「さつき俳句会」の6つのサークルが加盟しており、総会員数は凡そ40名です。

しかし、会員の高齢化と男性会員の少ないことが悩みの種で、組織は先細りの状態です。

俳句に興味のある方は、ぜひお入りください。

【役員】

会 長 依田 智文（丸滝・TEL：0556-62-0402）

副会長 石川 陽子（下山・TEL：0556-62-5527）

会 計 千須和繁臣（帯金・TEL：0556-62-1317）

【総合文化祭出品作品】

- | | |
|-----------------------|--------|
| ・白タオル滝にうたれし身をつつむ | 石川 陽子 |
| ・秋立つや和紙の里より紺の富士 | 井上 麻子 |
| ・里神楽さす手引く手は彼の人ぞ | 天野 和子 |
| ・白鷺の早降りたちて代田かな | 佐野 あさ子 |
| ・悲母観世音万緑の身延山 | 望月 喜代子 |
| ・白猫の李の下の日下り | 吉野 禾六 |
| ・柿の花使はぬ井戸の蓋の上 | 廣島 爽生 |
| ・帰省子の母を離れて座りけり | 依田 智文 |
| ・廃屋の増えてゆく村石路の花 | 吉野 秋子 |
| ・かくれんぼ薄目の鬼に落葉散る | 遠藤 千鶴子 |
| ・きらきらと柿をむく母喜寿迎ふ | 藤田 幸子 |
| ・蟬鳴いて暁の村ざんざ降り | 藤田 松美 |
| ・山門を抜けて自在や秋の蝶 | 近藤 葉月 |
| ・足音に餌をせがみ寄る金魚かな | 望月 千恵子 |
| ・田起こしの土の荒塊神無月 | 千須和 繁臣 |
| ・廃校に桜もみじの虚空かな | 遠藤 和美 |
| ・銀杏黄葉ぬける青さの空があり | 穂坂 清子 |
| ・紅葉晴山肌を行く雲の影 | 海野 相子 |
| ・虎杖の雁字搦(ガソッガラム)にまかれをり | 今井 正子 |
| ・東雲の中に月ある寒の入 | 保科 美知代 |
| ・垂氷して故里深く眠りをり | 藤田 男久子 |
| ・すり合の車輛待つ駅雁渡 | 柳沢 良子 |
| ・今日よりも明日が良き日秋の山 | 青沼 貞子 |
| ・あかね空雁に長幼序列あり | 藤田 房子 |
| ・秋刀魚やく煙の中に夫の聲 | 近藤 千恵子 |

サークル名 ちぎり絵下部教室

平成11年4月に発足したちぎり絵教室は、15年が経過しました。

今は、指導者はおりませんが、当初から勉強してきている先輩を中心にアドバイスを受けながら、自主的に製作活動に励んでいます。

日本古来の手漉き和紙を「ちぎって貼る」。同じ材料を使っても各人の感性、創造性、技術によって仕上がりは異なります。

世界に一つしかない作品。完成した時の喜びは一入（ひとしお）ですし、生活に潤いを与えてくれます。

和紙に関心のある方、一緒に「ちぎって貼って」みませんか。お待ちしております。

- ・活動日 毎月第4金曜日 午後1時30分～3時 下部地区公民館
- ・メンバー 6名
- ・展示 道の駅しもべ、町総合文化祭、地区の公民館まつり等



「カサランカ」
高野 光子



「羽衣の松」
遠藤 三六



「赤富士」
佐野 関子



「富士山」
堀内 みどり



「竹とあじさい」
高野 フミ子



「猫」
高野 のぶ子

サークル名 あすなろちぎり絵

和紙に魅せられて、平成12年、中富町に自主自立型の「あすなろ塾」が誕生しました。現在、ちぎり絵塾には、70代から80代の余生チャレンジ組11名が学んでいます。

私は絵心がないからとか、器用ではないからとか敬遠する必要は全くありません。

山川草木や季節の移ろいに惹かれる人であれば、誰でも入門出来ます。

同じ材料や下絵を使っても、決して同じ作品にはなりません。一期一会ともいうべき、個性豊かな作品が生まれます。

人とのつながり、地域とのつながり、そして自身の人生を彩るちぎり絵と遊んでみませんか。

- 日 時 毎月第2木曜日 午後1時30分から
- 会 場 中富総合会館
- 講 師 深沢好子氏・長田秋子氏

(あすなろちぎり絵)



「十二支（えと）」
深沢 登志



「菊」
若林 夏子



「あじさい」
深沢 久子



「もくれん」
深沢 昇子



「秋の溪流」
長田 秋子



「花菖蒲」
望月 明美



「福寿草」
二宮 美智子



「花菖蒲」
大原 登貴和



「あじさい」
佐野 すずえ



「あじさい」
神宮司 けさ子



「秋の溪流」
深沢 好子

サークル名 和紙ちぎり絵（みのぶ）

和紙ちぎり絵と出逢って早20年になります。

平成26年3月末、静岡市にて「富士山展（富士山を題材にしたちぎり絵展）」が開催され、全国より3千点余りが展示されました。部員全員が出展し会場も賑やかでした。

私の念願だった「個展」を、20年目に私の生まれた町でしたいと思い計画、部員の皆様にも協力していただき、4月26日から5月11日まで16日間、南部町立美術館で開催しました。部員の作品は視聴覚室に力作が展示されました。連日大勢の方にご来場いただき、一同感謝しております。ありがとうございました。

展示会の余韻もあり、南部中学校美術部の生徒指導や、南部町立図書館での夏休み子どもちぎり絵教室が開かれたり、大人の方はぴゅあ峡南で開催したりと仲間が少しずつ増えました。

町民文化祭では、部員全員が出展し、にぎやかに飾ることができました。

現在の活動は、月1回の勉強会と年に1回神戸にある和紙ちぎり絵本社（しゅんこう）に習作を提出して審査を受ける習作コンクールの出展作品に精を出して頑張っております。

これからも地域の人達とのふれあい、和紙ちぎり絵を知っていただく機会をつくり、皆様に喜んでいただける様な活動をしていきたいと思っております。

興味のある方は、お気軽お電話ください。

連絡先：角打・乗松登美子（Tel0556-62-1260）

(和紙ちぎり絵みのび)



「椿咲く頃」
今井 正子



「ざくろ」
向井 洋子



「八女(福岡)」
石川 愛子



「富士と秋桜」
中根 ゆき子



「赤富士」
望月 利子



「双龍図」
柿島 勝美



「ふぐと南天」
佐野 正子



「富士と秋桜」
望月 茂子



「三保の松原」
藤本 真樹



「初霜の朝(富士ロイヤルC.C.より)」
乗松 登美子

専門部 押し花絵部

サークル名 押し花倶楽部

押し花倶楽部は、毎月1回、中富総合会館の和室で開催しています。
会員は5名で、河西文江先生から楽しく教えていただいております。



「晩秋の富士山」
河西 文江



「西洋の城」
伊藤 久美子



「秋色」
埜村 日出子



「コスモス咲く」
深沢 一三



「リース」
高橋 芳子

サークル名 日向押し花教室

平成26年度から文化協会に加入させていただいた日向押し花教室です。よろしくお願いいたします。教室は公民館活動から始まり、10年余りになります。毎月1回、2部形式で教室を開催しています。会員の増減はありましたが、現在は6人で活動しています。



岩松 一恵



長江 みほ



馬場 富美恵



小林 節子



小林 ひとみ



柴原 三枝子

専門部 水墨画部

サークル名 身延水墨画部

墨の香りにつつまれながら先生、会員との会話や、ゆったり時間が流れる中で、1枚の絵が仕上がりとても楽しい時間です。皆さんもいかがですか。

- 講師 望月勅雄先生
■会員 8名
■教室 毎月15日、26日 午後7時30分～9時
梅平2区公民館にて開催しています。

■活動内容

- ①国際墨彩画展出品 (平成27年度の展覧会にも出品いたします)
展覧会の予定 ・H27. 5. 12 (火) ～5. 17 (日) 山梨県立美術館
・H27. 5. 22 (金) ～6. 4 (木) 南部町立美術館 (巡回展)
- ②墨酔会水墨画展出品 (南部町立美術館)
- ③身延町総合文化祭「展示会」出品 (身延町和紙の里・なかとみ現代工芸美術館)
- ④美術館めぐり (年1回・長野方面他)
- ⑤会員食事会 (年2回・反省と今後の目標について)

身延水墨画部 部長 山本 慶子



「瓢箪」
若林 里絵



「冬の空」
望月 光子



「茶畑」
望月 麗子



「富士川遠望」
遠藤 金子



「秋」
山本 慶子



「夏の詩」
牛腸 大嶽

専門部 漢詩部

サークル名 峡南詩壇・松風会

サークル名 下部地区公民館下部書道教室

私達のグループは、部員の高齢化と諸事情により、会員が以前の半数の現在6名となり、部の存続もきびしい状況です。

書を上手に書こうとか、美しい字を書こうという意識は別として、先ずは指と脳を使つての老化防止、また趣味としての実益を兼ね、部員さんとの和を大切に、個々に合った題材を自ら選考し、松浦先生に学んでおります。

書は黙して自己表現できる素晴らしい視覚芸術です。特に出品時オリジナル作品の完成の際は心が満たされます。

練習成果は、恒例の市川大門碑林公園全国書道展に、また町総合文化祭への出展です。

私達書道部員は新しい部員さんをお待ちしております。どうぞ私達と書の醍醐味を共有しませんか？

- ・講師 松浦 昇先生（身延町梅平）
- ・会場 下部地区公民館 毎月第1金曜日
午後2時～4時迄
下部地区公民館下部書道教室 馬場 弘江



第5回身延町総合文化祭【出展作品】（左側から）
馬場 弘江 ・ 増本 秋子 ・ 長谷川 洋子

サークル名 墨の会

身延町文化協会書道部所属の「墨の会」は、望月正邦先生に御指導頂き、西嶋分館で月2回、金曜日午後2時～3時まで、女性ばかりの会員7名で、練習に励んでいます。

「たくさんの思い出が人間を大きく進歩させる」（津金孝邦会長）の言葉を胸に尚一層精進してまいりたいと思っています。

筆文字を見た人が幸せになれるように、もっともっと筆文字が広まってほしいと願っています。

墨の会 代表 笠井 和子



第5回身延町総合文化祭【出展作品】（左側から）
笠井 比呂美 ・ 笠井 和枝 ・ 依田 佐紀子
・ 笠井 厚子 ・ 笠井 和子 ・ 望月 律子

専門部 華道部

サークル名 華道部

身延町では、5つの流派の先生方が活躍しております。

日本古来の伝統文化の一つである「いけばな」を後世に引き継ぐことを誇りに持って諸先生方が日々精進しております。

お花をやってみたい方、興味のある方お待ちしております。

活動内容としては、年間を通して1ヵ月交代で、身延町総合文化会館の正面玄関に季節の生花を活けております。

また地区公民館祭りにと、日頃の成果を発揮しております。

【会員氏名（流名）】

- | | |
|----------------|----------------|
| ・千須和 清月（池坊） | ・野矢 理春（古流） |
| ・望月 一静（日本華道古流） | ・保坂 一文（日本華道古流） |
| ・遠藤 一初（日本華道古流） | ・前田 一幸（日本華道古流） |
| ・望月 征月（静月古流） | ・池上 玉葉（小原流） |

専門部 編物部

サークル名 編物教室

私自身は編物部に入って4年になりますが、編物が大好きで、編んでいくうちにだんだん模様が出てくると、とても嬉しくなります。

編物教室は、大河内分館で毎週木曜日の月4回開催しています。

教室の中頃では、みんなでお茶を飲みながら、いろいろな話をして楽しんでいます。

仲間とのおしゃべりが楽しく、いつまでもこの教室が続くことを願っています。

今年は、文化祭に出品いたしました。多くの皆さんに作品を見ていただきとてもうれしく思っております。

編物が好きな方、是非おいでください。
お待ちしております。

編物教室 代表 青沼 ふじ代



サークル名

初心者向着物教室

戦前、戦中、戦後、食料不足の時代に、今は亡き職人の父親が仕事の関係で大晦日に柳行季を背負って帰ってきたのを覚えています。その柳行季の中には出稼ぎに必要な衣類、仕事の道具、家への土産に食材や菓子などが入っていて楽しみなものでした。その他に郡内織の着物の生地が何時でも入っていて、私には魅力がありましたけれど、3人姉妹の長女だけで、後の2人分は無く、姉の花嫁道具の一品になったのでした。でも「いいなあ」とは思わず、うらやましくも思いませんでした。何でも不足している時代でしたから・・・。

その時、働けば私にも可能だなと思い、18歳の時に初めて給料らしきもの1,800円を手にして呉服屋へ行き銘仙（伊勢崎）を手にした時の感動は、今でも忘れられません。色は母親の好んだ赤紫の着物で、今でも生きていて、時には単衣の着物になったり、羽織に直したり、半纏にして何回かリフォームして活用し、端切れが今では紐を入れる「コンバイン袋」の目印にもしています。

着物は、古材でも活用できる品だなと思っています。

高野 淳子



第5回身延町総合文化祭

【出展作品】（左側から）

- ・望月 淑子
- ・渡辺 ひろ子
- ・鈴木 澄子

サークル名

下部絵画部

下部絵画部は、昭和62年に設立された絵画教室です。毎月第2・第4金曜日の午後7時30分から下部地区公民館において教室を開催しています。毎回8名程度が集まり楽しく活動しています。興味をお持ちの方は一緒にどうですか？ 入会をお待ちしております。



「アマリリス」
二宮 陽子



「ランプと花器」
岩松 順子



「ゴーヤのある静物」
花形 喜美江



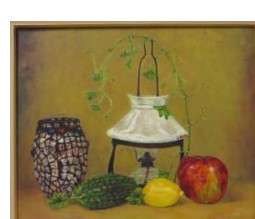
「カバンと筆立」
伊藤 玉子



「ビンと花器」
赤池 幸光



「コーヒーミルのある静物」
日吉 菊江



「静物」
加藤 澄子

サークル名 中富絵の会

絵画を趣味とし、各種作品展に作品を出展するなど、種々活躍している5人で結成したグループです。

会員は、笠井義仁（代表）、岩本 好、笠井映文、望月徳子、笠井幸子の5名です。

【活動】

- 各自、油彩、水彩、日本画など各専門分野で活動しています。
- 所属する会への出展、一般募集への応募、各区・町の文化祭への作品出展など幅広く活動を展開しています。
- 会員相互の批評会を毎月1回開催しています。
- 画家を講師としての学習会も開いています。



「鶴」
笠井 義仁



「西嶋の路地」
岩本 好



「舞姫」
望月 徳子



「静物」
笠井 幸子

専門部 自然観察部

サークル名 自然愛好部

当部は、昭和62年2月、下部町中央公民館の呼びかけにより、山野草や野鳥観察を趣味とする数人で設立準備会を開き、同年4月14日、10人の賛同者を得て設立されました。山野草や野鳥に造詣が深く、部員であり顧問であり指導者でもあった、故日向富士雄先生の指導のもと、町内各所で観察会を開催しました。観察会は次第に遠方まで足を延ばすようになり、本栖湖畔でのコノハズク（木葉木菟）や富士ヶ嶺高原でのカッコウ（郭公）の声を聞く会、三郡橋付近での冬鳥観察会などを開いてきました。

さらに、この近辺では見る機会が少ない、ミズバショウ（水芭蕉）、ザゼンソウ（坐禅草）、クマガイソウ（熊谷草）、セツブンソウ（節分草）、ユキワリソウ（雪割草）などの観察のため、長野県、埼玉県、新潟県も訪ねました。

この間、山梨県においては環境保護政策を推し進め、県民の環境に対する意識啓発を図ってきましたが、当部はこの政策の一つである、環境アドバイザー派遣制度をたびたび活用し、ハケ岳山麓、樹海、入笠山などでの自然学習教室や講演会などを開催してきました。

こうした中、平成21年、長年の観察活動・学習活動・保護活動が認められ、自然環境功労者環境大臣表彰を受賞しました。

現在も定期的な観察会のほか、アカショウビン（赤翡翠）の飛来数調査の協力、ブッポウソウ（仏法僧）の巣箱作りなどの活動を進めています。

これまで、一般的に見ることができたミスミソウ（三角草）、東日本では希少種とされているササユリ（笹百合）、絶滅が心配されているカイコバイモ（甲斐小貝母）なども町内で観察することができましたが、近年はそれも叶わぬようになり淋しい限りです。

一方、鳥類を見ても、夏鳥のジュウイチ（十一）やホトトギス（杜鵑・時鳥）、冬鳥のジョウビタキ（尉鷺）、ツグミ（鶇）などの飛来数も極端に減少していることもまた然りです。

これに反し、飼鳥が野生化したガビチョウ（画眉鳥）は異常に繁殖し、文協だよりが発行される3月ころ聞くことができるウグイス（鶇）の初音が、そのけたたましい声に掻き消されてしまう恐れがあります。

現在の部員数は63人の大所帯のため、観察会は大型バスを利用していますが、昨年8月の青梅市御岳山のレンゲショウマ（蓮華升麻）観察会には34人が参加し、この可憐な花の大群落に歓声を上げていましたが、車中での歓談も観察会の大きな楽しみの一つとなっています。

今年はどこで、何を観察しようか。

専門部 手芸部

サークル名 イトの会

会員を募集しています！！ 現在会員は8名です。

細い針仕事ですが、一つ出来上がるごとに楽しみが増します。ぜひ参加してみませんか！

作品作り・・・毎月第3土曜日

場 所・・・身延町総合文化会館（和室）

主な活動・・・身延町総合文化祭

「文化文芸作品展」出品



第5回身延町総合文化祭
【出展作品】

サークル名 絹布細工教室

ご自身、又は親、知人から頂いたのに、着られなくなったしまった着物や帯など、何か別な形で活用したいと思っている方。気軽にいつでも、ちょっとした時間に出来ます。

仕上がった物を誕生日プレゼント、祝い事に贈ると、高価なものより喜んで頂けます。

どなたでも楽しんで作れると思います。

何か趣味を持ちたい方、どうぞいらっしゃってください。楽しいですよ。お待ちしております。

絹の古布を使って吊るし雛や置物、ご希望によりいろいろな物を作ります。

生地のある方はお持ちになってください。無い方は、お安くお譲りします。一度作品を見学に来てください。曜日や時間などは相談に応じます。



身延町文化協会会則

（名称及び事務所）

第1条 本会は、身延町文化協会と称し、事務所を身延町教育委員会事務局内に置く。

（目的及び会員）

第2条 本会は、身延町民の芸術・文化活動の振興と香り高い文化の町づくりに寄与することを目的とし、これに賛同する者を会員として組織する。

（事業）

第3条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 町内の文化団体相互の連絡・調整
- (2) 文化的行事の開催及び協力
- (3) 山梨県文化協会連合会及び峡南地域文化協会連絡会が行う行事への参画
- (4) その他、必要と認めること

（専門部及びサークルの設置）

第4条 本会に、活動内容に応じて組織された専門部及びサークルを置くことができる。

2 専門部及びサークルは、本会の活動に参画する。

3 専門部の運営に関する事項は、専門部ごとに別に定める。

（会費）

第5条 本会の会費は、1サークル年間2,000円とする。

（役員）

第6条 本会に次の役員を置く。

会長1名 副会長2名 理事若干名 監事2名

（役員の任期）

第7条 役員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。また、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

（役員の選出）

第8条 役員の選出は次のとおりとする。

- (1) 会長及び副会長は、理事会において選出する。
- (2) 理事は、専門部各代表者を充てる。
- (3) 監事は、会長が選任する。

（役員の職務）

第9条 役員の職務は次のとおりとする。

- (1) 会長は会務を総理し、本会の会議の議長となる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
- (3) 理事は理事会を構成し、重要事項を審議し会務を執行する。
- (4) 監事は本会の会計監査を行い、その結果を会議に報告する。

(会 議)

第10条 本会の会議は総会及び理事会とし、総会は通常総会及び臨時総会とする。通常総会は会長が本会会計年度当初に招集し、臨時総会及び理事会は必要に応じて招集する。

2 総会は、会長、副会長、理事、サークル各代表者、監事をもって構成し、次の事項を審議する。

- (1) 正副会長の承認及び監事の選任
- (2) 会務の報告と事業計画の承認
- (3) 決算の報告と予算の承認
- (4) 会則の制定及び改廃
- (5) 本会専門部設置の承認
- (6) その他必要事項

3 理事会は、会長、副会長、理事をもって構成し、次の事項を審議する。

- (1) 総会に審議すべき事項
- (2) 会長及び副会長の選出
- (3) その他総会の決議を要しない事項

4 総会及び理事会は出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長が決する。

(会 計)

第11条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 本会の経費は、会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

附 則

(施 行)

1 この会則は、平成19年4月1日から施行し、別に定める日から適用する。

(経過措置)

2 前項の適用の日までの間は、身延町文化協会連絡協議会会則（平成16年9月13日施行）の規定によるものとし、それに基づきなされた決定は、本会則の相当規定によりなされたものとみなす。

(身延町文化協会連絡協議会会則の廃止)

3 第1項の適用の日の前日をもって、身延町文化協会連絡協議会会則（平成16年9月13日施行）は廃止する。

附 則

この会則は、平成26年4月1日から施行し、別に定める日から適用する。

附 則

この会則は、平成26年7月16日から施行する。



身延町文化協会
文協だより第7号

〔編集・発行〕
身延町文化協会

〔発行日〕
平成27年3月31日

身延町文化協会事務局
身延町役場生涯学習課内
電話：0556-20-3017